

常なる磐

つねなる いわ seasonⅢ

令和 5年 1月 13日(金)

その3 通算 296号

◇ 成長…担任の先生とともに

小学校のベテラン教師の「すごさ」は、何気ないところに醸し出される。しかも教師の姿ではなく、子供の姿を通して明確に表出される。

自分は遠巻きでしか見られないが、同じく担任の若手教師は、まさしく目前でまの当りにして肌で感じ、空気を察していることだろう。

新任の飯田先生(2年生)は、両脇が貴子先生(1年生)と柴田先生(3年生)という好環境下。

飯田先生の力量が伸びないはずがない。

右写真は、「かけ足訓練」のかけ足前後の様子。いずれも何気ないスナップ写真であるが、先生を中心とした学級の一体感が伝わってくる。

これぞ、「ベテラン教師のすごさ」なのだ。

実は、是非とも掲載したかった場面があったのだが、写真撮影を忘れるぐらいこちらが見とれてしまった。よって、状況のみ紹介していく。

かけ足訓練前、ちょうど子供たちが玄関を出てくるころに、テンションアップのための軽快なポップ調音楽が流れる。ここでの3年生の話。

登美丘高校ばりに音楽に乗った軽快なダンスをする5人の児童。前には担任の柴田先生。そう。先生のダンスに合わせて児童らが踊る。これが3年生の準備体操。あまりに息のあった動きに1年生がさっそく着目。1年生も合わせて踊り出す見事な光景。これが毎日続くのだから面白いっただけではない。私の楽しみになった。

本校の子供たちは、間違いなく学校で成長している。そこにいるのは、寄り添う担任の先生。今年度も100日を切った。ラストスパートだ。



1年生

3年生

